



第104号

平成31年3月15日

発行 奈良教育大学 附属中学校 育桜会  
編集 広報部  
印刷 (有)山田印刷

### AI技術を生かす人に

校長 森本 弘一



卒業おめでとう。中学校を卒業し、新しい環境へと向かう君たちは、希望に胸を膨らませていることでしょう。

私達はコンピュータ、携帯電話を日常的に使用し、日々インターネットを利用しています。これらの技術のなかで注目されているのがAI (Artificial Intelligence) 技術です。

先日海外出張の折、入国審査を通る時に、入国審査官によるチェックで

は、なく自動認証システムを利用しました。自動認証システムでは、AI技術の顔認証システムが使われています。このように、AI技術が人々の将来の職業を大きく変えると言われています。

ある調査では、10、20年後まで残る職業として次のようなものがあげられています。「レクリエーション療法士」「危機管理責任者」「メンタルヘルスワーカー」「聴覚訓練士」「作業療法士」

### 他者と連帯して 人類の課題の克服を

副校長 谷口 尚之



「卒業おめでとう」といいます。二〇一五年、国連サミットで、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包括性のある社会の実現のためにSDGs (持続可能な開発目標) が採択されました。

附中でも各所に十七の目標が掲示されているので目にしたことはあるでしょう。「二〇三〇年までに」と年限を切り、貧困や飢餓の克服、不平等の解消、平和や公正の実現等の課題に、全ての国

が取り組むことを約束したことの意義は非常に大きいと思います。むしろ「やらねばならぬ」ということだとわかっていて、誰かがやるだろうと待っているのは二重の悪意です。」という言葉は

大変厳しいですが、次代の主権者である皆さんをはじめ、全ての国の全ての人々が他者と連帯して課題克服のために一歩踏み出すことが、いま求められています。

附中を巣立つ皆さんの前途を祝し、SDGs実現のために勇気と気概をもって行動していきたくれることを期待しています。

### 卒業生の皆さんへ

育桜会会長 小林 寛樹



お祝いの言葉を考えるにあたり三年間の出来事を思い返しました。入学前、これから始まる自転車通学に向けて、学校までの道のりを家族

と一緒に自転車で走って確認したのをついこの間のことと思います。だんだんと、家族より友達と遊びに行くことを優先するようになってい

ました。それはとても寂しく、でも自分の時間の過ごし方を自分で決めていく様は、頼もしく感じていました。

この三年間沢山のことがあり、それはとても寂しく、でも自分の時間の過ごし方を自分で決めていく様は、頼もしく感じていました。

自分と決めた、その過程でいろいろな思いをしたと思います。そのそばで私たちが一緒に成長することが出来た。豊かな時間を本当にありがとうございました。

これから始まる新しい生活を楽しんでください。卒業おめでとうござ

### 卒業は 新たな始まり

主幹教諭 松田 孝史



卒業おめでとう。ただ、今はまだ卒業する実感が持てないかもしれせんね。芸能界ではよく、アイドル歌手が「卒業する」という表現が使われます。年寄りの私などは、それに若干の違和感を抱くものの、あるメンバーがグループからただ脱退して消えてしまっただけでなく、今度は自身の能力や力量がより厳しく求められ、評価される世界に挑戦するために脱退するのならば、それはまさしく「卒業する」といっても良いかと思えます。

卒業おめでとう。さようなら。みんなと出会えた奇跡、これまで共に過ごした日々... ありがとう。そして、さようなら。出会いは偶然に、でも、別れは必然に... ありがとう。そして、さようなら。伝えたかったこと、その意味がわかるときには、もう卒業... ありがとう。そして、さようなら。次の会うときには、もっと大きな笑顔で...



「AI・ロボットに負けない人に」  
卒業おめでとう！ 卒業に際して次のメッセージを贈ります。「AI・ロボットに負けるな！」  
今後、AIやロボットの社会進出が飛躍的に進む時代に突入すると予想されます。結果、人間の活躍の場はどんどん奪われていくのかもしれない。だからこそ、これからの時代に求められるのは、人間ならではの魅力を発揮できる人なのです。自分自身の個性や実力を磨き、新しい時代においても大いに活躍し、幸せになってくれることを願っています。

つまり卒業とは、何かを終えたことを記すことに意味があるのではないかと、次に新しい何かに向かうことを決意する機会と捉えるべきであると思

みなさんの新しい世界での挑戦と活躍を期待しています。いつも附中から応援していますよ。

親愛なるみんなへ 入学式でみんなと出会った時は、かわいくて幼い印象だったのに、今はこんなにたくましく、立派になったことに改めて驚いています。教師になって5年の私にとって、みんなが初めて3年間共に過ごした生徒です。色々なことを共に経験し、共に成長できたことは私にとって素晴らしい宝物です。きっとこれからもっと多くのことを経験し、もっと素敵な人になるのだと思うと、近くでまだまだみんなの成長を見ていたい気持ちでいっぱいですが、そうもいかないで、時々顔を見せて帰って来てくださいね。待っています。卒業おめでとう！

卒業おめでとう！  
①置かれた状況の中で、めげずに誠実に頑張ること。  
②周囲の助けに気付いて感謝できること。  
あなたのがんばりは誰かが見てくれています。困ったときにはきっと助けてくれます。そして新たな人と繋がることで、将来が開けます。僕はそう信じています。これから何かに行き詰まった時に、思い出してもらえると嬉しいので、ぜひ、応援される人になってください。誠実かつアグレッシブに！

ご卒業おめでとうございます。3年間を思い返すと、生徒会活動方針「BREAK WALLS」「NO WALLS」の議論、そして、臨海実習後の実行委員話し合いで導き出した「共尊」の言葉が浮かんできました。「見えない壁を乗り越えたい」という強い思いと、人との出会いを通して、尊重し合い、活かし生かされていることに気づいたこと。熟慮・対話の先に世界が拓けることを学んだ附中生活。益々の成長を応援しています。

附中は不思議な学校です。自慢は盛りだくさんの行事、一風変わった授業と教師と過酷な課題、個性豊かななかまたち。好きでもあるし、嫌でもあった3年間。自分に出会いなす学校。「問い」を見つける学校。だけど、ここはきっとあなたの人生の原点になっている。「私は・・・」と言葉があふれ、あなたを励ましてくれる。おめでとう！あなたと附中で出会えた縁を感謝します。また、お会いしましょう！！

3年1組 担任 有馬 一彦

3年1組 担任 若森 達哉

3年2組 担任 岸田みなみ

3年3組 担任 若森 達哉

3年4組 担任 佐竹 靖

3年5組 担任 小倉 智子

3年1組・2組 副担任 吉田 寛

3年3組・4組 副担任 竹村 景生

